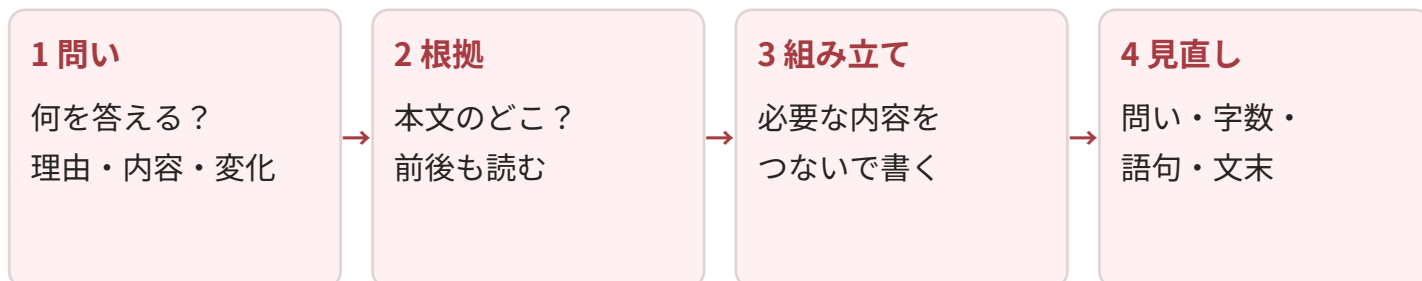


根拠を答えにつなぐ

図解 | 問い・根拠・組み立て・見直し

記述は、本文を使って問いに答える練習です。まず書くべき内容を決め、あとから字数や文末を整えましょう。



設問で四つ確かめる

- ①何について答えるか ②どの内容を入れるか
③字数はいくつか ④指定語や文末があるか

例：「練習前の不安と、練習でできたことに触れ」は、両方の内容を入れる指示です。

抜き出しと説明を使い分ける

抜き出し：指定された範囲から、本文の言葉をそのまま写す。語尾を変えたり、別の所の言葉をつないだりしない。

説明：本文の意味を確かめ、必要な言葉を選んで組み立てる。「それ」「そこ」は、指す内容を明らかにする。

問いに合う文の形にする

「なぜ」→理由が分かるように「～から。」などで結ぶ。

「どういうこと」→内容を「～こと。」などで示す。

「工夫は～載せた。」では主語と述語がつながりません。「工夫は～載せたことだ。」と整えます。

文末が指定されたらその形を守ります。指定がない場合は、問いに自然に答える文にしましょう。

理由を短くまとめて見直す

例題 | 下の短い文章で確かめよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

① 通学路の地図では、細い道まで全部同じ太さで描くと、進む道が見つけにくかった。そこで、通学に使う道を太く描いた。道の区別がつき、曲がる場所を確かめやすくなった。

例題

地図を直したあと、曲がる場所を確かめやすくなったのはなぜですか。二十五字以上四十字以内で、文末を「から。」として書きなさい。

根拠を二つつなぐ

通学に使う道を太く描いた → ほかの道と区別しやすくなった
このつながりを示します。「見つけやすくなったから」だけでは、問われたことを繰り返すだけです。

解答例

通	学	に	使	う	道	が	太	く	描	か	れ	、	ほ	か	の	道	と	区	別	20
し	や	す	く	な	っ	た	か	ら	。											40

[30字] 指定された「から。」と、句点を含めた字数を確かめます。

見直して直したい答え

「地図は、道を減らせばいつでも必ず分かりやすいから。」
→ 本文は、道を消したとは書いていません。「いつでも必ず」も本文より強い言い方です。本文にない事実を加えないようにしましょう。

仕上げの確認

- ☐ 問われた内容に答えている。
- ☐ 本文の根拠があり、勝手な理由を足していない。
- ☐ 主語と述語がつながり、誰のことかが分かる。
- ☐ 字数・指定語・指定文末を守っている。

字数指定では、句読点・かぎカッコ・小さい「っ」「ゃ」なども一字と数えます。空白は入れずに書きましょう。